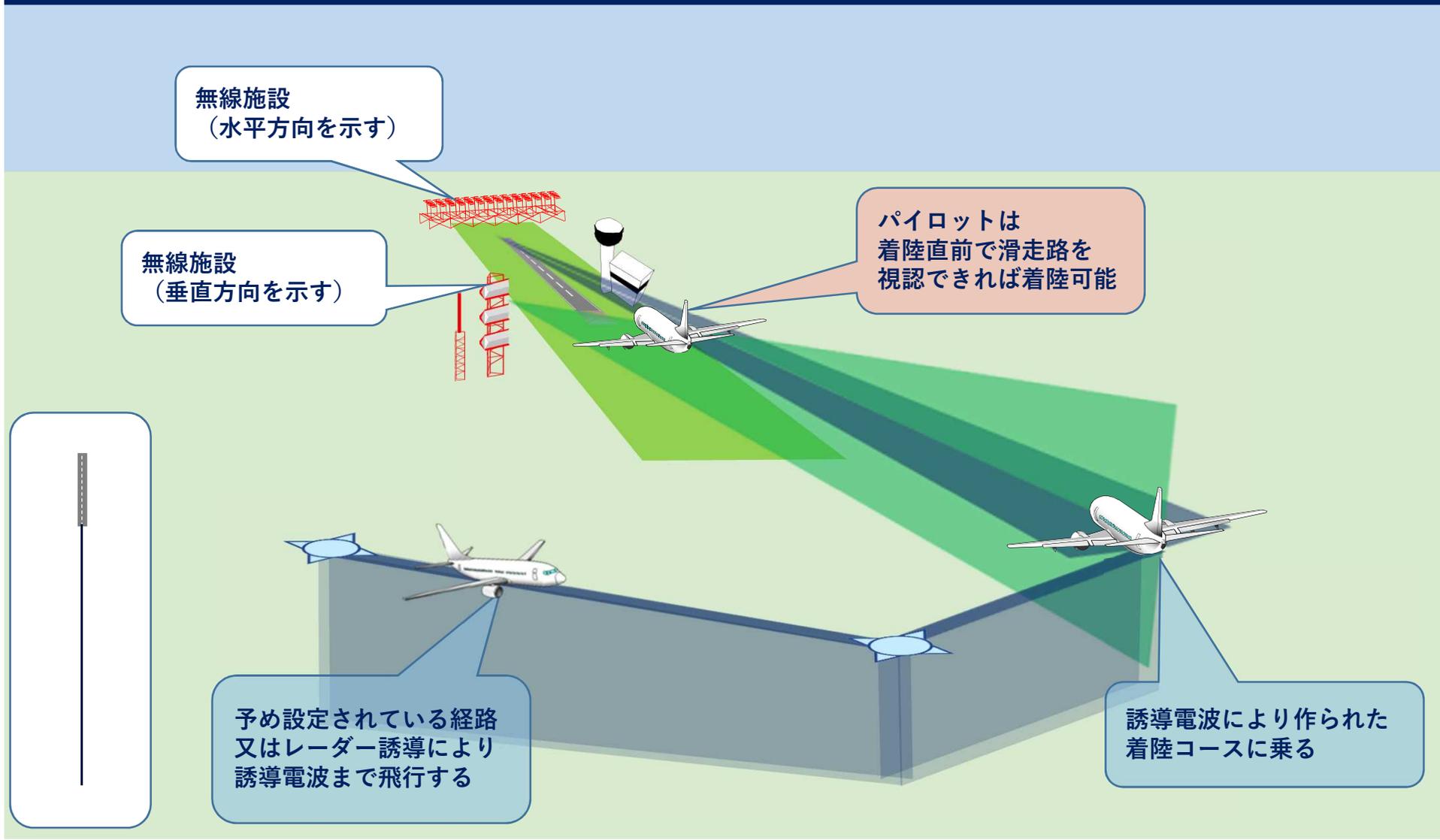
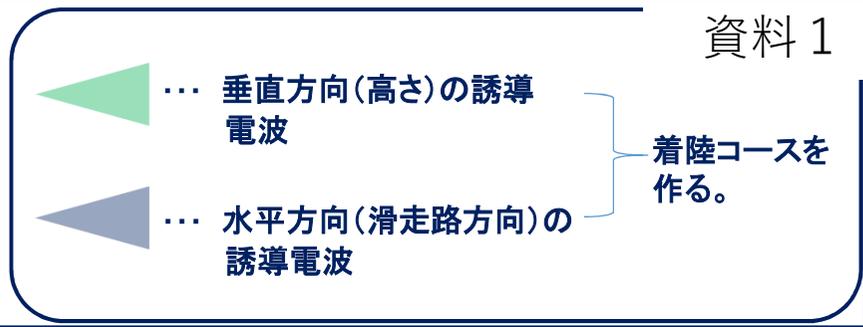


A:【地上からの電波により着陸する方式】

- 地上の無線施設からの誘導電波(垂直方向・水平方向の距離情報)によって滑走路までの着陸コースが作られる。高精度の場合は、着陸直前まで滑走路を視認できなくても着陸可能。(悪天候時の着陸可能)
(例)ILS進入方式



B : 【測位衛星 (GPS) を使用して着陸する方式】

- 測位衛星 (GPS) からの信号により、飛行機側で自機の位置を計算して進入する方式
- ウェイポイント間の経路は、直線に加え**曲線を含むことができる。**
- **着陸の直前では、一定の直線飛行が必要。**
※**曲線経路を飛行できる機材が限定される。**
(例) RNAV 進入方式・RNP 進入方式など



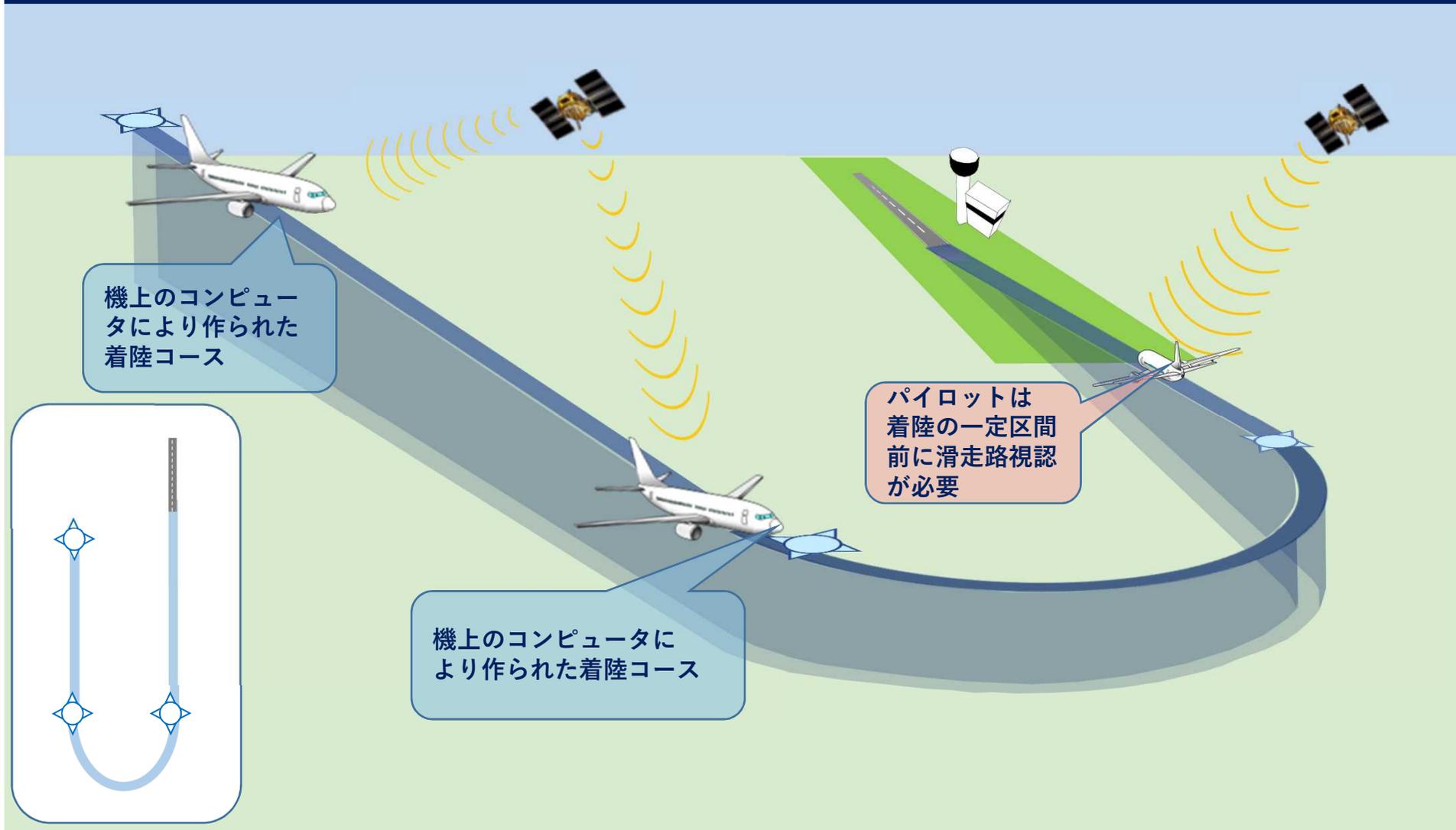
… ウェイポイント
航空機の通過すべき地点を緯度・経度により示し、識別のために特有の名称を割り当てている。



… 測位衛星 (GPS) からの信号



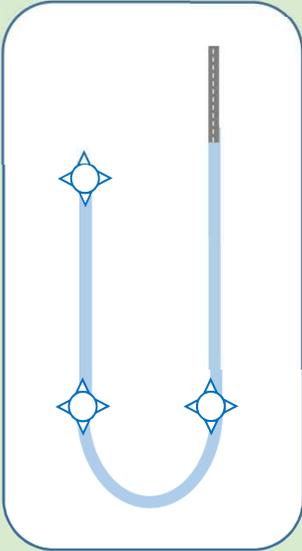
… 測位衛星を使用して飛行している経路



機上のコンピュータにより作られた着陸コース

パイロットは着陸の一定区間前に滑走路視認が必要

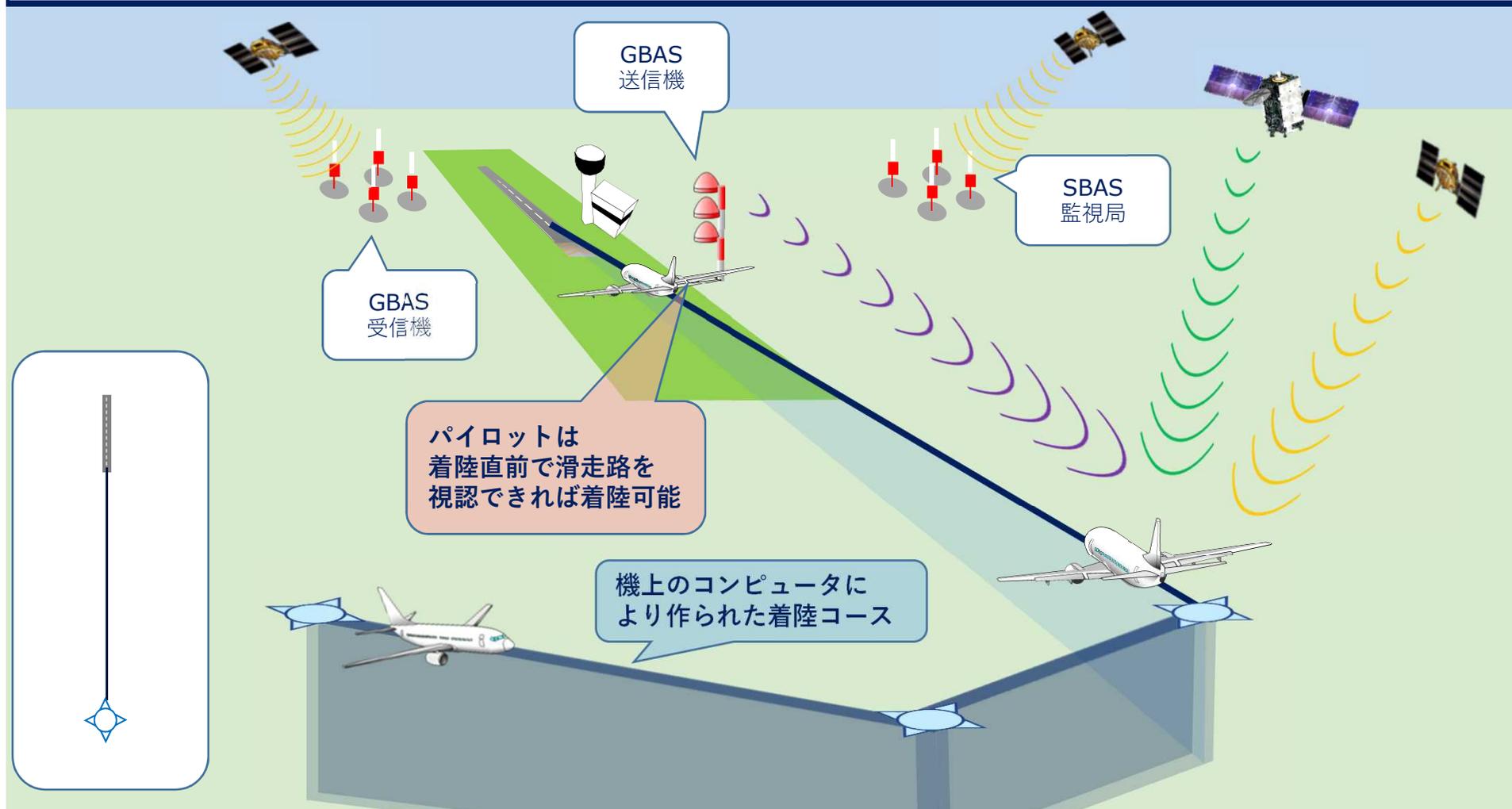
機上のコンピュータにより作られた着陸コース



C : 【測位衛星 (GPS) を使用して着陸する方式 (他のシステムにより補強)】

- 測位衛星 (GPS) からの信号により自機の飛行位置を計算して進入する方式。
- 補強システムのから送信される信号で経路情報を補強することにより、**高精度な飛行と着陸が可能。(悪天候時の着陸可能)**
〈補強システム〉・SBAS 準天頂衛星を経由して補正情報を送信
・GBAS 地上施設を経由して補正情報を送信
(例) LPV 進入方式・GLS 進入方式 ← ILS 進入に代わる方式

-)))))) ... 測位衛星 (GPS) からの信号
-)))))) ... 準天頂衛星 (SBAS) からの信号
-)))))) ... 地上施設 GBAS からの信号
- ... 測位衛星を使用し、他システムの補強を受けて飛行している経路



D : 【測位衛星 (GPS) を使用して着陸する方式 (目視による飛行部分を含む)】

- 測位衛星 (GPS) からの信号により自機の位置を計算して飛行し、進入復行点以降は、パイロットの目視により飛行するが、ウェイポイントによりその経路を指定する方式。
- **パイロットは進入復行点 (進入継続又はやり直しを判断する地点) までに滑走路を視認する必要がある。**



... ウェイポイント航空機の通過すべき地点を緯度・経度により示し、識別のために特有の名称を割り当てている。



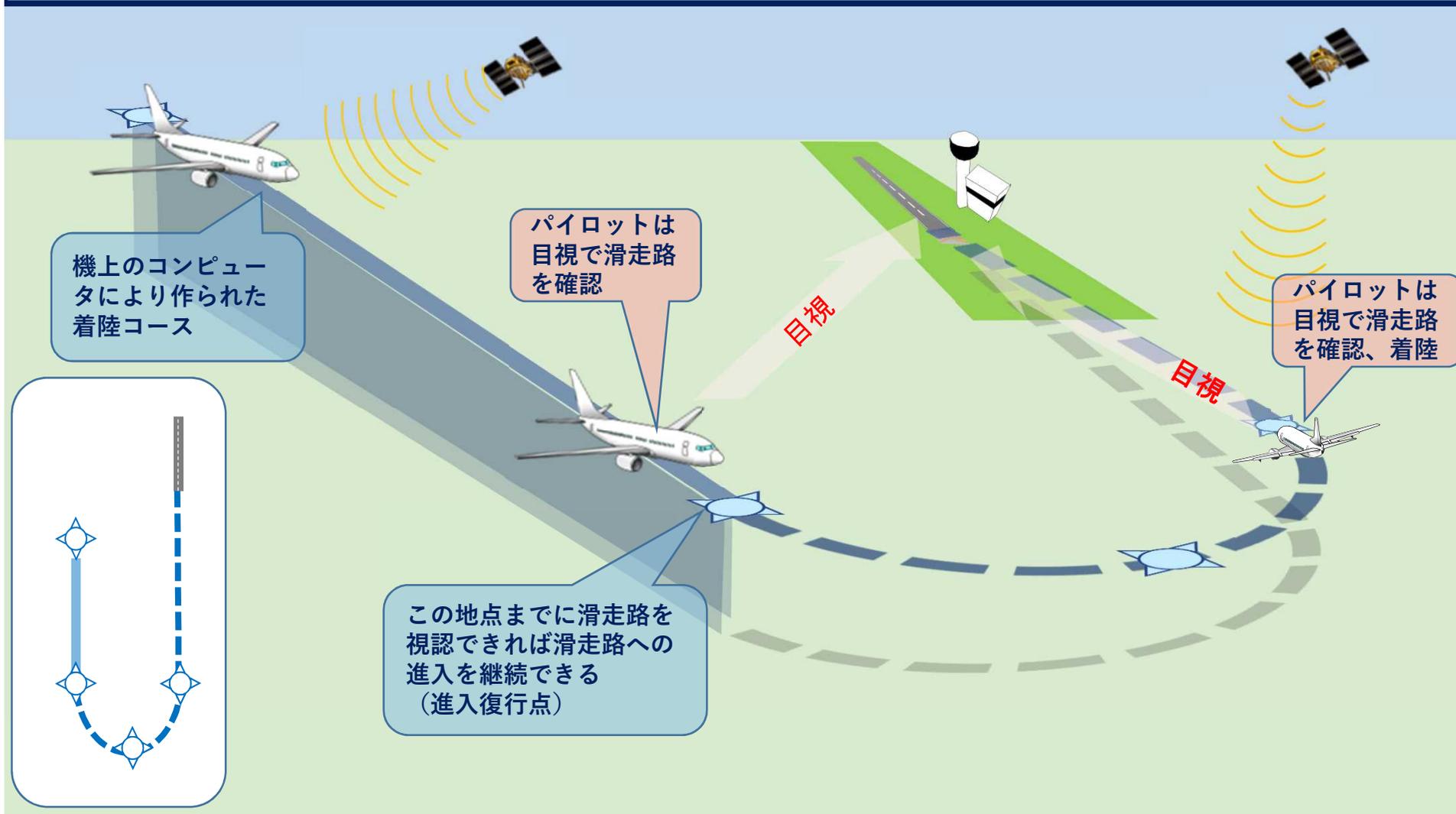
... 測位衛星からの信号



... 測位衛星を使用して飛行している経路



... パイロットの目視により飛行している経路



E:【パイロットの目視による進入】

- パイロットが飛行場又は先行の航空機等を目視しながら行う手動操縦による進入。
- 経路を指定するために、地上物標を飛行目標とする場合やウェイポイントを設定することがある。
- 先行の航空機との間隔、地表や地上物件との間隔はパイロットが判断して適切な距離を確保しながら飛行する。

■■■■■■ … パイロットの目視により飛行している経路

